

**“是～的”構文の文型と意味における
台湾閩南語・台湾国語・中国語・日本語の対照考察**
**A Contrastive Study of the “是～的” Construction in Taiwanese,
Traditional Chinese, Mandarin and Japanese**

呉 幸芬

Wu ,hsing-feng

1. はじめに

漢語の“的”には様々な用法があり、中心語の所属、材料、時間、代詞などを限定する連体修飾語の用法、「構造助詞」の用法、及び「語気助詞」の用法等がある。「の」にも多くの用法があり、体言につく格助詞や、活用語につく準体言助詞や、文末に語気と感情を表す終助詞などが挙げられる。

本稿では主に語気助詞である“的”が繫辞の“是”と結び付く“是～的”の構文を取り上げ、併せて閩南語・台湾国語・中国語(普通語)・日本語という4言語を含めての比較・対照分析を行った。

“是～的”の構文は過去にしたことや現在に持続していることなどを、主観的に肯定的な断定をくだすものと考えられる。また日本語の「のだ」文と類似していることも考慮して対照した。

本研究で得られた結論を実際に日本語教育の現場に応用すれば、中国語を母語とする学習者にとって、“是～的”構文の構造および意味と、日本語の強調構文「～のは・・・だ」との異同が判明し、教学上、極めて有用であると思われる。

今回取り上げた例文は、閩南語の関係本から引用したものは、その出典を明記し、筆者が台湾国語、普通話、日本語に訳して対照することにした。出典が明記されていない例文は、筆者が作成して中国語を母語にしている人に校正をお願いした。

2. 先行研究

“是～的”の構文は過去にしたことや現在に持続していることなどを、主観的に肯定的な断定をくだすものと考えられるが、まず、先行研究を見てみよう。

呂叔湘・牛島徳次・菱沼透(2003)「“是”は所有や材料を表す・分類を表す・描写や説明を表す・強調する意味合いがある等である。“的”は文末に用いて話し手の気持ちを表す。認定の気持ちを強調するかすでに発生したことを表すのであると述べている。」と定義されている。

鄭良偉(1997)は、“是～的”という構文は「“是…的”構造裡的“的”屬於名詞化的“的”。表是永恆不變事實或情況確認，只有兩個時，通常不省略。」p124 と述べている。(筆者訳：“是～的”の構文の“的”は名詞化的“的”に属する永久不変の事実や状況を確定する時に表し、二つしか持っていない時が通常省略しない。)

姚南(1996)は“是～的”という構文は「主に「主語又はある状態」について話し手が自分の見方・態度・推断・などを「強調・固い意志・断定」の語気で主観的に述べたようにするとき用いられる。」p130

相原茂・石田知子・戸沼市子(2007)は、「ある行為が発生したこと自体は明らかで、更にその行為の行われた時間、場所、方法等を具体的に強調して述べる。」p134

瀬戸口律子(2004)は「すでに行なわれた動作について、その動作がどのようにして行なわれたか、行なわれた時間・場所・方法などを特に強調する場面で使う。“是”は強調しようとする部分の前に置き、“的”は文末に置くのが一般である。」p212 と述べている。

又、日本語の「のだ」は準体助詞の「の」と断定的な助動詞「だ」からなっていることは既知であるが、「のだ」についての表現もいろいろな形があるはずである。それに中国語の“是～的”の構文に対して日本語の「のだ」と言ったものがあることを以下の例において対照訳から見てみよう。「のだ」については次のように定義されている。

森山卓郎(2000)「「のだ」は何かの状況があって、その背後にある事情を説明するような意味を表す場合によく使われる。」 p145

「「のだ」は否定や疑問に関する現象も数多くある。行為を指す意味(命令用法)もある。疑問文でも、何らかの状況がすでに決まっているという意味の場合にも使う。」 p146

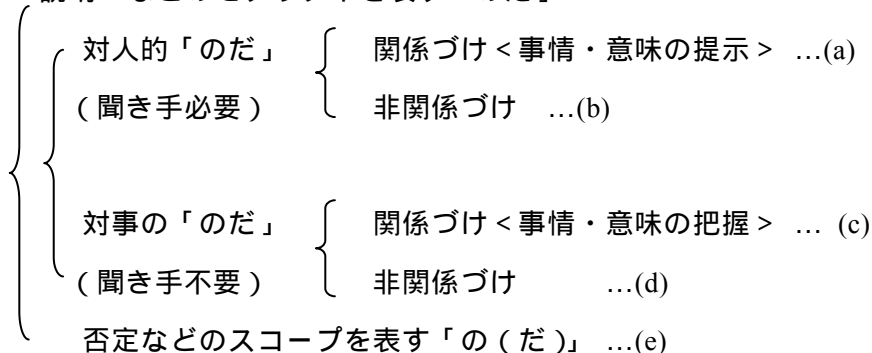
松岡弘(1987)は「「のだ」の場合は、「関係の認定を、話手が、自己の判断と責任において行うという意味合いが強くなる。」 p15

益岡隆志(1991)では、「「のだ」による「帰結説明」について「話し手の主観的な判断を表す。」 p145 と述べている。

宮崎和人・安達太郎・野田晴美・高梨信乃(2002)「「のだ」は、その前の部分を名詞化する働きをもつ「の」に「だ」が接続して、助動詞となったものである。文を名詞文に準じる形に変えるというのが、「のだ」の基本的な性質である。」 p233

野田晴美（1997）「のだ」の全体像は次のようになる。

<説明> などのモダリティを表す「のだ」



対人的な(a) (b)は、聞き手に対して事態を認識させようとする。対事的な(c) (d)は、話し手自身が事態を把握するものである。関係付けの(a) (c)は、状況や先行する文との関係付けがあるもの、非関係付けの(b) (d)は、それがないものである。

勿論「のだ」の文は“是～的”と全て合致しているのではなく、以上の定義によると事態の状況や判断に応じてある程度の文型表現が類似していると考えられる。

それに佐治圭三（1983）が大阪大学『日本語研究1』<『～のだ』の本質を求めて 再び山口佳也氏に答えて > p 112 に山口佳作氏（1976）早稲田大学の『国文研究』56号に<「のだ」の文について>発表した論文では「のだ」の文を次の四つの型に分けてある。筆者はその分けられた型の例に台湾国語の訳を入れて対照してみることにした。

（多く、問題となる事態の存在を前提として）～の+は ～の+だ

（例 外で音がするのは雨が降っているのだ。）

Wài miàn de shēng yīn shì zài xià yǔ la !

外面的聲音是在下雨（啦！）

（問題となる事態の存在を前提として）指示語+は ～の+だ

（例 外で音がする）あれは雨が降っているのだ。

(Wài miàn yǒu shēng yīn) nà shì zài xià yǔ de shēng yīn (la)

（外面有聲音）那是在下雨的聲音（啦！）

（問題となる事態の存在を前提として）～の+だ

（例 （外で音がする。）雨は降っているのだ。）

(Wài miàn yǒu shēng yīn) shì zài xià yǔ (la)

(外面有聲音) 是在下雨 (啦!)

(問題となる事態の存在を前提として) 仮の題目語 + は ~ の + だ

(例 (外で音がする。) 雨が降っているのだ。

(Tīng dào wài miàn yǒu shēng yīn) shì zài xià yǔ (la)

(~ 聽到外面有聲音) 是在下雨 (啦!)

以上、日本語の「のだ」文型を中国語に訳すると“是”が必要であるが、文末に“的”は不用であるとはっきり分かった。しかもそれは単に省略されたのではなく、後述するようにこの文型では文末に“的”が用いられないわけがある。さらにこれらの例文では文末に語気助詞“啦”を肯定的または確認した口調で加えても良いと考えられる。それ故、強調的な“是~的”の構文と幅広く使われている「のだ」文は完全に対訳することができないが、特に「のだ」文を“是~的”の構文になる対訳が必ずそうではないとも言えるだろう。

以下はこれらの説を基にして4言語で例文を挙げ、対照しながらその相違を分析することにする。

3.“是~的”の強調構文

主に(主語+是+時間・場所・方法+動詞+的)という語順となる。

Gún sī tī chhiau-kip chhī-tiūⁿ bé sit-but ê

(1) (閩) 阮(是) tī 超級市場買食物的。 『中國語文法概論』 p300

Wǒ mén shì zài chāo jí shì chǎng mǎi shí pǐn de

(台) 我們(是)在超級市場買食品的。

Wǒ mén shì zài chāo jí shì chǎng mǎi shí pǐn de

(中) 我们(是)在超级市场买食品的。

(日) 私たちはスーパーマーケットで食品を買ったのだ。

I sī khi tái-ôan kà Jit-bûn-ê

(2) (閩) 伊(是)去台灣教日文的。

Tā shì cyù tái wān jiào rì wén de

(台) 他(是)去台灣教日文的。

(中) Tā shì qù tái wān jiào rì wén de

他(是)去台湾教日文的。

(日) 彼は台湾へ日本語を教えに行ったのだ。

Hong-thai sī pò^a-mê lâi ê

(3) (閩) 風颱(是)半暝來的。 [海翁台語文學] p73

Tái fōng shih bàn yè lái de

(台) 颱風(是)半夜來的。

Tái fēng shì bàn yè lái de

(中) 台风(是)半夜来的。

(日) 台風は夜中に来たのだ。

例文(1)(2)(3)の“是”は後ろの連用修飾語を肯定し、強調している。(1)文の焦点はその動作ではなく、行われた動作についての「場所・超級市場/スーパーマーケット」である。(2)の焦点はその「目的・教日文/日本語を教える」である。(3)は事件が行われた「時間・半暝/夜中」を強調している。(2)の“去”は動作と目的地との関係を持つ上で方向性のある移動動詞として用いていると考えられる。(3)の“来”は“的”の前に前置して、“的”の動詞フレーズになり、すでに発生したことを肯定していると考えられる。音声は軽声で発音される。このような文は特に「誰」かに説明する場合や返事の場合でなければ、繫詞の“是”は(1)、(2)、(3)のように省略することもできる。但し、文末の“的”はある語を特に指す働きがあり語気助詞として強調を表しているので、省略することができない。しかし、話者が意図的に述べようとするときには、“是~的”構文は強調的な肯定語として使われ、この場合には“是”と“的”はどちらも省略することができない。次に“是”と“的”が省略できない場合の例を見てみよう。

Góa sī thak jîn-chi-chho pit-giap ê

(4) (閩) 我是讀「人之初」畢業的。 『台灣俗諺語典』 p15

Wǒ shì dú rén zhī chū bì yè de

(台) 我是讀「人之初」畢業的。

Wǒ shì dú rén zhī chū bì yè de

(中) 我是读「人之初」毕业的。

(日) 私は南宋王應麟の《三字經》を勉強して卒業したのだ。

例文(4)はでは、自分が古い昔の書籍である《三字經》だけを勉強したと、謙虚な態度を述べている。しかし時代が進み、多くの書籍や教育機関があるにも拘わらず、人が人としての教養が身につかず、小学校程度の学問しか持っていないという内容の非常に皮肉な

内容でもある。つまり比喩的に、“是～的”という構文が用いられ、その主述関係を主観的に強調されている。

		Lāng sī khiáu ê kah gōng ê, i (i n) sī gōng ê kah khiáu ê	
(5)	(閩)	人是巧的教蠢的，伊(i n)是蠢的教巧的。	『台灣俗諺語典』p46
		Rén jiā shih cōng míng jiào bèn de tā mén shih bèn de jiào cōng míng de	
	(台)	人家是聰明教笨的，他們是笨的教聰明的。	
		Rén jiā shì cōng míng jiào shǎ de tā mén shì shǎ de jiào cōng míng de	
	(中)	人家是聰明的教傻的，他们是傻的教聰明的。	
	(日)	普通は賢い人が未熟な人を指導するのに、この人(達)は逆に、賢い方が教えられているのだ。	

上記例文(5)の例文に見られるように、普通、賢い人が未熟な人を指導する。しかしこの状況は逆に賢い方が教えられている。すなわち教える方の技量が、習う人に及ばないことをこの諺は指摘していて、そのことを強調しているのである。

		Iû ^a -hái siok tīl, sīl chhòng-chō ê	
(6)	(閩)	洋海屬佇伊 是伊創造的。	『新約附詩篇・箴言』詩篇卷四 95
		Yang Hǎi guī shǔ yú tā shih tā chuàng zào de	
	(台)	洋海歸屬於他 是他創造的。	
		Yang Hǎi guī shǔ yú tā shì tā chuàng zào de	
	(中)	洋海归属於他 是他创造的。	
	(日)	洋海は彼の物に帰属され、彼により創造されたのだ。	

例文(6)は、洋海(大地や山)など、世間の全てのものはエホバ(神様)のものに帰属されるという文意である。“是”が主語の前に用いられる。まして後ろの動詞フレーズの“(他)創造的”“(彼が)創造したものである”と、動作主の“彼”の素晴らしさ、偉大さを表現し、万物の持ち主ということを強調している。

		Õe-sī-i-kóng-ê	
(7)	(閩)	話是他講的。	『台灣閩南語法稿』p231
		Huà shih tā shuō de	
	(台)	話是他說的。	
		Huà shì tā shuō de	
	(中)	话是他说的。	
	(日)	(その)話は彼が言ったのだ。	

例文(7)では、“是+仕手「伊/他/彼」+動詞(間接目的語)+的”が置かれている。“的”の前に主述(主謂)連語で、文の焦点や音声にも仕手が強調されていると考えられる。この場合“是~的”はどちらも省略できない。

		<u>Góa sī chāu-kang-ô ê. I sī chò bāng-lō ê</u>	
(8)	(閩)	我是走江湖的。伊是做網路的。	「海翁台語文學」p 102
		Wǒ shì pǎo jiāng hú 。 Tā shì zuò wǎng lù de 。	
	(台)	我是跑江湖的。他是做網路的。	
		Wǒ shì pǎo jiāng hú tā shì zuò wǎng lù de	
	(中)	我是跑江湖的。他是做网路的。？	
	(日)	私は大道芸人で、彼はネット業者だ。	

例文(8)では“走江湖”というのは現代の大道芸人のような昔の香具師芸である。芸は人集めの手段で、目的は芸を見た(聴いた)人へ何らかの商品を売ることである。主に音楽芸、マジック、猿まわし、南京玉すだれ、蝦蟇の油売り、チンドン屋、人間ポンプなど、種類は非常に多い。

これは分類を表す語句である。いわゆる「私」(走江湖)と「彼」(做網路)という存在、身分・職業などを相手に分かってもらうため、説明するように強調されている。

		<u>Thó-tī-kong sīpó-pì tak-ke pêng-an-hoat-châi ê</u>	
(9)	(閩)	土地公是保庇逐家平安，發財的。	「海翁台語文學」p 126
		Tǔ dì gōng shì bǎo yòu dà jiā píng ān fā cái de	
	(台)	土地公是保佑大家平安，發財的。	
		Tǔ dì gōng shì bǎo yòu dà jiā píng ān fā cái de	
	(中)	土地公是保佑大家平安，发财的。	
	(日)	鎮守様は皆の平安、金運を守るのだ。	

例文(9)“土地公”というのは、その地域(の住民)を災害などから守る神様のことだ。日本の「鎮守神」のようなものである。

ここでも例文(4)~(9)と同様に“是~的”という構文が用いられ、意図的状况、いわゆる述語(謂語)の部分を強調している。“是”と“的”はどちらも省略できない。“的”も的確に認定の気持ちを強調する語気助詞として、前に述べていた出来事を断定的に再度強調している。

4. 主語 + 是 + 形容詞 + 的

		<u>Thng sī sio ê</u>	
(10)	(閩)	湯是燒的。	『台灣閩南語法稿』 p273
		Tāng shì tàng de	
	(台)	湯是燙的。	
		Tāng shì tang de	
	(中)	汤是烫的。	
	(日)	スープは熱いものだ。	

		<u>Tē-kiū sī-îⁿ ê</u>	
(11)	(閩)	地球是圓的。	『台語的語音與詞法』 p124
		Dì cióu shih yuán de	
	(台)	地球是圓的。	
		Dì qiú shì yuán de	
	(中)	地球是圆的。	
	(日)	地球は丸いものだ。	

例文(10)(11)は、形容詞の後に“的”を用い、“的”字連語(形容詞フレーズ)とすることにより、形容詞を名詞に相当するものになっている。この二つの例文では形容詞で状態か性質を表すが、“是～的”の構造を使って、事実を述べたり、または話者の気持ちを強めたりする。

例文(11)では文字の通りに事実が強調されているが、比喩的な意味もある。それはいつかまた会えるや、チャンスが回って来るだろうという意味も含まれている。

		<u>Chit-ūi chok-ka tī Jit-pún sī siong-tong ū miâ-siaⁿ ê</u>	
(12)	(閩)	這位作家 tī 日本是相當有名聲的。	
		Jhè wèi zuò jiā zài rih bēn shih siāng dāng yōu míng cì de 。	
	(台)	這位作家在日本是相當有名氣的。	
		Zhè wèi zuò jiā zài běn shì xiāng dāng yōu míng qì de 。	
	(中)	这位作家在日本是相当有名气的。	
	(日)	この作家は日本では非常に有名なのだ。	

		<u>Góa sī cha-po ê i sī cha-bóê</u>	
(13)	(閩)	我是查埔的，伊是查某的。	『台灣閩南語法稿』 p270
		Wǒ shih nán de tā shih nyū de	
	(台)	我是男的，她是女的。	
		Wǒ shì nán de tā shì nǚ de	
	(中)	我是男的，她是女的。	
	(日)	私は男で、彼女は女だ。	

例文(12)“是”の後ろに「相当」という副詞でその程度・状態を表す。しかも後ろの形容詞フレーズを加え、その既成事実の性質を断定的な語気で強調し、相手に伝える。

例文(13)では「主語+是+名詞+的」と二つの文を並べて、それぞれの性質を強調して説明する。(例えば赤ちゃんが生まれたばかりの母親達が、子供の性別を聞かれたとき、このような言い方で、その違いを強調して区別し説明する場合である。)

これは一つの言葉で関連する物を表せるという日本語のうなぎ文¹と同様に考えられる。中国語や閩南語においても会話で、うなぎ文が実際に使われることがある。さらに“是~的”の構文で強調するのも可能である。

例文(10)~(13)いずれも、ものの性質や状態や事実など、相手に伝えたい情報を強調する。

5.“是~的”の否定構文 「不是~的」

“不”は必ず“是”の前に付けて“不是”になる。否定焦点は“不是”の後ろにある行為・性質である。

	I -m-sī- gōng-sī tì ⁿ -chhe ⁿ ê	
(14)	(閩) 伊 <u>m</u> 是 蠢, 是 根生 (的)。	「白話字台語文 ê 網站」
	Tā bú shih bèn shih jhuāng shā de	
	(台) 他 <u>不是</u> 笨, 是 装傻 (的)。	
	Tā bú shì bèn shì zhuāng shā de	
	(中) 他 <u>不是</u> 笨, 是 装傻 (的)。	
	(日) 彼はできないのではなく、恍けているだけだ。	

通常“是~的”の否定構文では“是”は省略できないと考えられている。例文(14)閩南語の場合は“不是”は後ろの行為・性質を意味する。“根生/装傻”を否定するのではなく、前半の“蠢/笨”を否定している。そのことから、この文の焦点は前半にあると言える。この場合、後ろの“的”は省略することができる。因みに、このような正、反二つの

¹日本語のうなぎ文とは、食事に注文するとき「僕(の頼むの)はうなぎだ」が省略された形で「~じゃ、僕はうなぎだ。」と考えられる。

この文について吉川武時の『日本語文法論』では「うなぎ文」は奥津敬一郎 1978 『「ボクハ ウナギダ」の文法』(くろしお出版)によって一躍有名になったが、実は、それより先に、金田一春彦が述べている。そのことは『「ボクハ ウナギダ」の文法』の p.21 にも書いてあると述べている。

文を取り上げ、前半を否定し、後半を肯定することは話者の主観的な断定と考えるのではないか。

しかし普通の会話では、例文(14)に見られるように、後ろに“的”を用いないため、“是～的”の否定構文ではないと判断する人もいる。もし“的”が省略されていないとすれば、この文はただの“是”の構文で、事柄の陳述文になると思われる。“装傻”を強調する場合は“的”を付けてもよいと思う人もいる。“的”を付けるか付けないかは、台湾国語と閩南語の場合でも状況や、その人の話し方や態度次第で決められる。付けた場合は“根生 / 装傻”という行為を肯定的に強調する。語気を荒げる言い方ならば厭味な感覚が強い傾向がでる。反対に柔らかな言い方ならば少し励ましの意志が入っていると考えられる。

		<u>Góa m-sī lái oan-ke ê</u>	
(15)	(閩)	我 <u>m 是來冤家的。</u>	「白話字台語文 ê 網站」
		Wǒ bú shì lái chǎo jià de	
	(台)	我 <u>不是來吵架的。</u>	
		Wǒ bú shì lái chǎo jià de	
	(中)	我 <u>不是來吵架的。</u>	
	(日)	私は喧嘩にきたのではないのだ。	

例文(15)は“来”という動作を否定するのではなく、“冤家 / 吵架”という「目的動作」を焦点に否定しており、従って“是”は省略できなく、また語尾の“的”はその否定を強調するので、欠かすことが出来ない。

		<u>Góa m-sī khai-chhia sī chē kong-chhia-lâi ê</u>	
(16)	(閩)	我 <u>m 是開車，是坐公車來的。</u>	
		Wǒ bú shì kāi chē shì zuò gōng chē lái de	
	(台)	我 <u>不是開車，是坐公車來的。</u>	
		Wǒ bú shì kāi chē shì zuò gōng chē lái de	
	(中)	我 <u>不是开车，是坐公车来的。</u>	
	(日)	私は車ではなく、バスで来たのだ。	

例文(16)は“開車”という交通手段を焦点に否定して、バスを利用する手段を強調するのである。語尾の“的”すでに発生したこと強調的に表すので省略できない。

		<u>Miā pháiⁿ-miā sī-lâng -chō-chhut-lâi-ê ,m-sī thiⁿ-chù-tiāⁿê</u>	
(17)	(閩)	命歹命是 <u>人造出來 ê , m 是天註定 ê。</u>	「白話字台語文 ê 網站」
	(台)	Mìng bù hǎo shì rén zì zào de , bú shì tiān zhù dìng de	

命不好是人自造的，不是天注定的。

Mìng bù hǎo shì rén zì zào de , bú shì tiān zhù dìng de

(中) 命不好是人自造的，不是天注定的。

(日) 運命が良くないのは、自ら招いたもので、生まれつきの運命ではないのだ。

例文(17)では肯定的な“是～的”と否定的な“不是～的”二つの構文を合せている。まず前半では人の運命は他人のせいではなく、自らが招いた結果であると「動作主」である自己が強調されている。主観的に述べようとする意味が強まっている。後半では“天”が定めた運命ではなく、断定的に「動作主」の行為を否定する。前半と後半の“是”も“的”も構文上では不可欠の要素であるため、どちらも省略することはできない。

Lí ê tāi-chì góa m-sī bô-tàng liáu-kái ê

(18) (閩) 妳/你的代誌我 m 是無瞭解 (的)。 『白話字台語文 ê 網站』

Nǐ de shìh wǒ bú shìh bù liǎo jiě de

(台) 妳/你的事、我不是不瞭解 (的)。

Nǐ de shì wǒ bú shì bù liǎo jiě de

(中) 你的事、我不是不了解 (的)。

(日) あなたの事は私は知らないわけではないのだ。

例文(18)“不是”の後ろにもう一度“不”を加えることにより“不是不”と二重否定することになる。意味上では逆に「是」、や「できる」など肯定的な語気を強調することになる。又は婉曲に原因を説明することになると考えられる。この文の前半の“的”は人称代詞を指す。いわゆる所屬關係を表すので不可欠の存在であり、語尾に付けた“的”の存在はそれ程重要ではないと考えられ、省略してもいい。閩南語では否定語は“不、無、免”等が使われる。日本語では「～なければならない・～わけではない」のような文型に類似している。

Góa chò tāi-chì sī bô-súi-piān ê

(19) (閩) 我做代誌は無隨便的。 『台語的語音與詞法』 p124

Wǒ zuò shìh shìh bù suí biàn de

(台) 我做事是不隨便的。

Wǒ zuò shì shìh bù suí biàn de

(中) 我做事是不隨便的。

(日) 私はいいい加減なことをしないのだ。

例文(19)“不”が“是”の前に付かず、“是”の後ろに用いられる文型である。これも

“是～的”の構文であるが、否定構文としては成り立たず、いわゆる動作自体を否定するではない。焦点は後半の行為「隨便／いい加減」を否定することにより、“不隨便”という態度に重点を置いて、自分の慎重さを強調しているのである。

6.“是～的”の疑問文

		Che- sī- siá ⁿ (siá ⁿ -lâng)chò- ê	
(20)	(閩)	這(是)誰 / 啥人做的?	「白話字台語文 ê 網站」
		Jhè shih shéi zuò de	
	(台)	這(是)誰做的?	
		Zhè shì shéi zuò de	
	(中)	这(是)谁做的?	
	(日)	これは誰がやったのだ?	

例文(20)疑問詞が主語になって、焦点は「啥人・誰」という施事対象である。動作述語文を核心にしてそれを強調する文である。“是”は省略可能だが、残した方が“是～的”の疑問文に強調的な語気が表れると考えられる。また「这是谁做的?」「是」を省略する時は「这谁做的?」の文になる。すなわち「这是谁做的?」と「这谁做的?」両方とも文の重点はすでに発生した動作や行為または動作主にあり、文型は過去疑問形である。次に“的”も省略する場合は「这谁做?」となり、これから発生する出来事を表す文になると考えられる。こうすると「のだ」構文から考えるとまた別の意味にもなれると考えられる。日本語の対訳では「これは誰がやるの?」になるので、単に疑問だけではなく、命令文にも言えるのではないか。すでに決められた仕事はまだやらなくて、注意された時にも使えると思う。

閩南語の“是”を省略した文は「這誰 / 啥人做的?」で、すでに起こったことを指摘する過去形になる。また“是～的”の両方とも省略すると「這誰 / 啥人做?」の文になる。この部分の閩南語は少し曖昧となりこれからしようとする事(未来形)か、またはすでに起こった事(過去形)であるかは人によって判断が異なることもあり、その違いを人の話す語気や語調で判断することとなる。しかし通常では「這誰 / 啥人 (beh) 做 (ê)?」のように“beh / 要”という時制を表す語を付けて、未来を表す言葉を用いた方が合理的な文になる。よく知られているように中国語では動詞自体はテンスとアスペクトを表さない。つまり現在・過去・未来というような時制がなく、動詞が変化できないのである。アスペクトと呼ばれる“着・在・了・過”という動態・時態助詞で動作の状態や結果や時間性等が

表されている。この点が日本語とは異なる。

	<u>Sîân-á ê kiò-siaⁿ sī -tùi tó-ūi lâi--ê</u>	
(21)	(閩) 蟬仔的叫聲(是)對明位來的?	「白話字台語文 ê 網站」
	Chán de jiào shēng shih cóng nǎ lǐ chuan lái de	
	(台) 蟬的叫聲(是)從哪裡來的?	
	Chán de jiào shēng shì cóng nǎ lǐ chuan lái de	
	(中) 蟬的叫聲(是)從哪裡來的?	
	(日) 蟬の鳴き声はどこから来たのだ?	

例文(21) 蟬の鳴き声は「どこ」から来たのだ? という文は単に過去に発生したことだけではなく、現在にも持続している状態という疑問文であると考えられる。焦点はその行われた動作についての「場所」にあって、“是”は省略できるが、あった方が重点を強調し明確に指摘することができる。文末の“的”は動詞の後ろに加えて、動詞フレーズになり、すでに発生したことの語気助詞として肯定的な疑問を表している。

	<u>Lí-sī-m-sī-bōe-hi-ê</u>	
(22)	(閩) 妳/你 是 m 是賣魚的?	「白話字台語文 ê 網站」
	Nǐ shih bú shih mài yú de	
	(台) 妳/你 是不是賣魚的?	
	Nǐ shì bú shì mài yú de	
	(中) 你是不是賣魚的?	
	(日) あなたは魚屋さんなの? あなたは魚屋さんではないの?	

例文(22) 中国語の例文の肯定の“是”と否定の“不是”を重ねた形で構成される(“是不是”)形式は疑問文でよく使われ、反復疑問文という。日本語では“～ですか”、“ではないか”というような意味である。2つの“是”はどちらも省略できない。例文(22) 日本語では「ない」という否定文を使わず、口語的な疑問文“～は～の?”が使用されている。いわゆる普通の会話で職業・身分を問う典型的な疑問文である。勿論、“是不是”という構文にそのまま置き換えることもできるが、その場合微妙なニュアンスの違いが観察される。例文(22) 日本語訳を「あなたは魚屋さんじゃないの?」という否定表現に変えるとニュアンスに差が出てくる。「この人の職業は魚屋さんではないの?」魚屋さんという職業として十分承知されているのに、そうではないの?または「あなたは魚屋さんなのに、このくらい事も知らないの?」と疑うような印象を与える文となってしまう。しかもこの例文も(21)と同様に意図的な隠喩があれば、命令文にもなれると思う。いわゆる「魚屋さんなら、ちゃんとやりなさいよ。」という意味にも含まれていると考えられる。この点が中国語

の“是是”とはちょっと異なる。

楊淑芳(2007)の『台灣閩南語語法稿』には、“敢”は文白両方の読音とも“是”の疑問文副詞になる、但し語気がそれぞれ違うと述べている。(p232)

おそらく例文(22)閩南語では以下のどちらの疑問文を使うのかはその時の情緒や疑問や不信などの程度や状況によって、違って来る。怒ったり、興奮したり声調がやや上がった、疑い深く語気が低く下がったりしていると考えられる。

- “你 是 m 是賣魚的?” (選択疑問文 / 反復疑問文)
“你 敢是賣魚的?” (肯定的な疑問文)
“你 敢 m 是賣魚的?” (否定式の疑問文)
“你 是賣魚是無(是否/ sī-bò)”? (肯定的な疑問文 / 諾否疑問文)

以上の疑問文に変えると先ほどの日本語の例文とニュアンスに違いが生ずる。「あなたは魚屋さんではないの?」「あなたは魚屋さんに違いないよね?」「あなたは魚屋さんですか」と強調的に肯定の答えを待っている。または、職業・身分が間違われるか、あるいは知っているはずの専門知識を疑われると考えられる。ここでの否定疑問文では「のだ」文の命令意志にも用いられる。しかし一般には両方の意味には、それ程大きな違いがないものとして用いられる。

		<u>Lí-sī chò sahⁿ-mih seng-lí ê</u>	
(23)	(閩)	妳 / 你 (是) 做啥物生理的?	『大家來說台灣母語』 p178
		Nǐ shì zuò shé me shēng yì de	
	(台)	妳 / 你 (是) 做什麼生意的?	
		Nǐ shì zuò shé me shēng yì de	
	(中)	你 (是) 做什麼生意的?	
	(日)	あなたはどんな商売しているのだ。	

例文(23)は(20)、(21)と同様“是”は省略可能だが、残した方が疑問文の“是~的”の構文に強調の語気が表れると考えられる。(閩)、(台)、(中)3言葉では後ろの“的”を省略した場合「妳 / 你 (是) 做啥物生理? / 你 (是) 做什麼生意? / あなたはどんな商売をするの?」一時的な商売や永久的な商売や一体商売という能力を持っているかの意味に変わる。また“是~的”両方とも省略した場合は「妳 / 你做啥物生理? / 你做什麼生意? / あなたは商売できるの? / これでも商売と言えるの」と両方とも商売する能力を持って

いるかを疑われることも考えられる。つまり省略されると硬い口調で疑われる。

7. “是~的”の目的語構文(“的”は必ず後ろに付くとは限らない。)

		<u>Góa sī kū-nī bé che-pún-chheh ê</u>
(24)	(閩)	a. 我是舊年買這本冊的。
		Wǒ shìh cyù nián mǎi jhè bĕn shū de
	(台)	a. 我是去年買這本書的。
		Wǒ shì qù nián mǎi zhè bĕn shū de
	(中)	a. 我是去年买这本书的。
	(日)	a. 私は去年この本を買ったのだ。

		<u>Góa- sī kū-nī bé ê che-pún-chheh</u>
	(閩)	b. 我是舊年買的這本冊。
	(台)	Wǒ shìh cyù nián mǎi de jhè bĕn shū b. 我是去年買的這本書。
	(中)	Wǒ shì qù nián mǎi de zhè bĕn shū b. 我是去年买的这本书。
	(日)	b. 私は去年この本を買ったのだ。

		<u>Góa- sī cha-hng khì khòa^a hi ê</u>
(25)	(閩)	a. 我是昨昏去看戲的。
		Wǒ shìh zuó tiān cyù kàn sì de
	(台)	a. 我是昨天去看戲的。 『中国語的文法』 p158
		Wǒ shì zuó tiān qù kàn xì de
	(中)	a. 我是昨天去看戏的。
	(日)	a. 私が芝居を見に行ったのは昨日だ。

		<u>Góa- sī cha-hng khì khòa^a ê hi</u>
	(閩)	b. 我是昨昏去看的戲。
		Wǒ shìh zuó tiān cyù kàn de sì
	(台)	b. 我是昨天去看的戲。
		Wǒ shì zuó tiān qù kàn de xì
	(中)	b. 我是昨天去看的戏。
	(日)	b. 私は昨日芝居を見に行ったのだ。

例文(24)のa.とb.は強調されている箇所が違っている。また省略される“的”は動詞の後の連帯成分となり、“是”の目的語(賓語)となり、名詞に相当すると考えられる。

例文(25)a.は文末に“的”が用いられており、「動詞+目的語+“的”」文型である。b.

の“的”は動詞の後に用いられ、「動詞 + “的” + 目的語」となる。

例文(24)と(25)は“的”を置く場所によって、文のニュアンスが微妙に変わり、文の重点もそれによって変わってくる。または a.と b.のように違う語順で表現するのは中国語では“的”が必ず目的語の前に付くとは限らないからである。目的語の後に付くこともできる。但し後置するほうが“是～的”構文の一般的な使い方と考えられる。前後の違いで、意味は同じでもその裏に含まれた話者の意思が異なりニュアンスの差がある。

但し、例文(24)と(25) b.のような語順(「動詞 + “的” + 目的語」)は台湾国語と閩南語では不自然であり、ほぼ使わないと判断できる。

		<u>Góa sī chē thàu-chá chá-pan-tiān-chhia lái-ê</u>
(26)	(閩)	我是坐透早早班電車來的。
	(台)	Wǒ shì dā dà cīng zǎo zǎo bān diàn chē lái de
		我是搭大清早早班電車來的。
	(中)	Wǒ shì zuò jīn zǎo shǐ fā diàn chē lái de
		我是坐今早始發电车来的。
	(日)	私は今朝始発電車で来たのだ。

例文(26) “坐”は坐るではなく、「乗る」ということである。目的語の後に方向動詞の「来」があるので、“的”は前置することができず、必ず後置する。“来的”は動詞フレーズになり、すでに発生したことを肯定していると考えられ、またはその手段・方法を強調している。

次は鄭良偉(1997)『台、華語的時空、疑問と否定』p144にある“是～的”の構文を引用した。4言語に置き換えて対照し、改めて動詞“是”の位置の変化によるその文の意味と焦点の相違を考えてみたい。その目的は、言葉の焦点はその動詞と副詞と目的語の位置によって、微妙なニュアンスの違いが表されるのではないかとということをも明らかにしたいからである。

		<u>Sī-i chah-hng tī-chit-ê só-chāi -iōng soh-á thài -liáu ka-kī ê kín-á ê</u>
(27)	(閩)	是伊昨昏 ㄊㄧˊ-這個所在用索仔 thài 了家己的 ㄉㄩㄣˊ仔的
	(台)	Shih tā zuó tiān zài jhèi ge dì fāng yòng shéng zih shā le zih jǐ de hái zih de
		是他昨天在這個地方用繩子殺了自己的孩子的

Shì tā zuó tiān zài zhèi ge dì fāng yòng shéng zǐ shā le zì jǐ de hái zǐ de
 (中) 是他昨天在这个地方用绳子杀了自己的孩子的
 (日) 彼が昨日この場所で紐で自分の子供を殺したのだ。

I sī chah-hng tī-chit-ê só-chāi -iōng soh-á thài -liáu ka-kī ê kín-á ê
 (28) (閩) 伊昨昏是 tī-這個所在用索仔 thài 了家己的囡仔的
 Tā zuó tiān shì zài zhèi ge dì fāng yòng shéng zǐ shā le zì jǐ de hái zǐ de
 (台) 他昨天是在這個地方用繩子殺了自己的孩子的
 Tā zuó tiān shì zài zhèi ge dì fāng yòng shéng zǐ shā le zì jǐ de hái zǐ de
 (中) 他昨天是在这个地方用绳子杀了自己的孩子的
 (日) 彼は昨日この場で紐で自分の子供を殺したのだ。

I chah-hng tī-chit-ê só-chāi- sī -iōng soh-á thài -liáu ka-kī ê kín-á ê
 (29) (閩) 伊昨昏 tī-這個所在是用索仔 thài 了家己的囡仔 (的)
 Tā zuó tiān zài zhèi ge dì fāng shì yòng shéng zǐ shā le zì jǐ de hái zǐ de
 (台) 他昨天在這個地方是用繩子殺了自己的孩子 (的)
 Tā zuó tiān zài zhèi ge dì fāng shì yòng shéng zǐ shā le zì jǐ de hái zǐ de
 (中) 他昨天在这个地方是用绳子杀了自己的孩子 (的)
 (日) 彼は昨日この場で紐で自分の子供を殺したのだ。

I chah-hng tī-chit-ê só-chāi-iōng soh-á thài ê sī - ka-kī ê kín-á ê
 (30) (閩) 伊昨昏 tī-這個所在用索仔 thài 的是家己的囡仔 (的)
 Tā zuó tiān zài zhèi ge dì fāng yòng shéng zǐ shā le shì zì jǐ de hái zǐ de
 (台) 他昨天在這個地方用繩子殺了是自己的孩子 (的)
 Tā zuó tiān zài zhèi ge dì fāng yòng shéng zǐ shā le shì zì jǐ de hái zǐ de
 (中) 他昨天在这个地方用绳子杀了是自己的孩子 (的)
 (日) 彼が昨日この場で紐で殺したのは自分の子供だ。

『台、華語的時空、疑問と否定』 p144

- 27. 是他 (“是”は主語の前に置かれ、動作を起こした仕手(施事者)を強調する。)
- 28. 是在這個地方 (“是”は事件が起きた場所を強調する。)
- 29. 是用繩子 (“是”は事件が起こされる手段を強調する。)
- 30. 是自己孩子 (“是”は動作の受け手(受事者)を強調する。)

四つの例文はいずれも意図的な“是～的”の構文になると考えられる。その語順は「仕手+時間+事件場所+手段+受け手」となるが、“是”の置く場所により、文の焦点が異なる。三言語とも“是～的”はいずれも省略することができる。但し省略されると普通の陳述文になり、どこに焦点があるかが曖昧で不明になる。しかし、“是”は不可欠の存在で、その後の連用修飾語を肯定して強調している。

27. ~ 30. の例文は一般に語尾の“的”は使わない。しかしこのような事件の発生の経緯を説明する場合は、“的”はすでに発生した動作や事柄などを重点に述べる語気を肯定的に強調するのである。

以上これまで述べてきたことから、次のことが結論として導かれる。

終わりに

“是～的”の構文は(閩)、(台)、(中)、(日)の4言語で、人の行為や物事を行なう経緯などの説明の仕方として頻繁に使われているが、その使用形式(使われる語順や用法規則)がほぼ一致していることが判明した。中国語には時制(テンス)を表す文法カテゴリーが存在しないことにより、“是～的”の構文は過去形を表す一種の文法手段ではないかと考えられる。また、話し手の主観的判断に基づきこの構文を使う場合は、過去形に限らず現在に持続していることを含意することも考えられる。但し未来のことには明確に言及できないと思う。さらに本稿で全て取り扱うことは出来なかったが、“是～的”の構文は日本語の「のだ」の役割にも近いという説も具体的に説明できると思われる。

以下に得られた結果を ~ の順にのべる。

. 本稿の 30 例は“是～的”の構文の文型により、閩南語の参考文献により引用したもので、決して日本語の「のだ」に合せて引用するものではない。対照した結果、日本語訳で「のだ」と訳され、意味が合致しているのは 24 例で、約八割ぐらいである。しかしこれらは“是～的”の構文を日本語に訳す場合である。逆に「のだ」から中国語に訳すれば必ずしもこういう結果になるとは限らない。これは先行研究に引用した例文と疑問文(20)(22)例に“是”と“的”のどちらかを省略する中国語例文に訳したもので判明すると思う。

. 7.“是～的”の目的語構文では、中国語の場合は目的語と対象語であれば、語尾の

“ 的 ” の後に置くことが出来る。但し、台湾国語と閩南語ではこのような語順は用いられない。

． “ 是 ” を省略できるのは例 (1) (2) (3) (20) (21) (23) である。主に “ 是 ” の後ろに動作が行われた「場所、目的、時間、対象、疑問詞」などが強調されている文である。省略されても文の意味は変わらない。

． “ 的 ” を省略できるのは例 (14) と (18) である。やはり “ 是 ~ 的 ” の構文では “ 的 ” は肯定的な判断で内容が強調されているので、語気を強める必要上、あまり省略することができないことがわかる。

． 例文 (15) のように閩南語では時制を表すのは中国語よりやや曖昧になり、明確的な指示文になるためには、更に合理的な介詞フレーズ(要・将...)が必要である。

． “ 是 ~ 的 ” の否定構文では “ 不 ” を “ 是 ” の前に付けて、否定文とするのが一般的である。しかし本稿の否定構文では “ 不是・不是不・是不 ” とそれぞれ違う例文を出した。結果的に “ 不 ” を “ 是 ” の前後につけると、否定される部分が違っている。必ずしも否定文になるわけではない。つまり後述文の行為・性質を否定されたり、肯定されたりすることになることが判明した。

参考文献

相原茂 石田知子 戸沼市子 2007 『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』

瀬戸口律子 2004 『完全マスター中国語の文法』 語研

趙元任著・丁邦新譯 2002 『中國話的文法』 香港中文大学出版社

鄭良偉 1997 『台語的語音語詞法』 遠流出版

鄭良偉 1997 『台、華語的時空、疑問與否定』 遠流出版

鄭良偉 1992 『國語常用虛詞及其台語對應詞釋例』 文鶴出版

宮崎和人・安達太郎・野田晴美・高梨信乃 2002 『新日本語文法選書 4 モダリティ』

森山卓郎 2000 『ここからはじまる日本語文法』 ひつじ書房

楊秀芳 2007 『台灣閩南語法稿』 第一版第六刷 大安出版社
姚南 1996 『身につく 中国語参考書 発音会話文法』 駿河台出版社
李臨定著 宮田一郎譯 1993 1996 『中國語文法概論』 光生館
輿水優 昭和 60 『中国語の語法の話 - 』 中国語文法概論 光生館

例文参照

海翁台語文學 2008/12 第 84 期 開朗雜誌事業 金安文教機構
教育部重編國語辭典修訂本
聖經 2004 『新約附詩篇・箴言』 白話字台語漢字對照 聖經公會
台文/華文線頂辭典
<http://iug.csie.dahan.edu.tw/iug/Ungian/soannteng/chil/taihoa.asp>
陳主顯 2001 『台灣俗諺語典』 前衛出版社
林四郎編修代表 『例解新國語辭典』 (第三版) 三省堂
方南強 1993 『大家來說台灣母語』 閩南語篇
村上嘉英 2007 『東方台湾語辞典』

台語拼音

教育部臺灣閩南語羅馬字拼音輸入法
台文華文線頂辭典
<http://iug.csie.dahan.edu.tw/TG/jisutian/jisutian.asp>
台文/華文線頂辭典
<http://iug.csie.dahan.edu.tw/iug/Ungian/soannteng/chil/taihoa.asp>
白話字台語文 e 網站
<http://iug.csie.dahan.edu.tw/taigu.asp>
資料提供：交大鄭良偉教授、眾 phah 字/校對義工 程式設計：大漢技術學院資訊工程系楊允言
劉杰岳提供 Taigi Unicode 字型，暗光鳥 e 厝提供 Asc2TP 數字轉調符程式
村上嘉英 2007 『東方台湾語辞典』